

1.1 各地区の対応

災害対策現地本部

現地本部長	各支所長
副現地本部長	各支所次長
現地本部員	各支所職員

《対応例：渡利支所》

平成23年4月19日開催『東日本大震災に係る渡利地区の状況報告等会議』より

1 経過

平成23年3月11日（金）14時46分
震度6弱（三陸沖の深さ20km、マグニチュード9.0）の地震発生、
以降、震源地を変えながら余震が継続

福島市 震度5強

- (1) 各町会長へ被害状況の確認依頼
 - ・各町会による被害状況の確認
 - ・消防団第7分団渡利による被害状況の確認
- (2) 民生委員へ町会役員と一人暮らし高齢者等の安否確認依頼
 - ・民生委員と町会役員による安否確認
 - ・民生委員と消防団第7分団渡利による安否確認
 - ・渡利地域包括支援センターによる安否確認
 - ・民生委員と渡利中学校生徒による飲料水の配付

2 渡利地区の被害状況について

- (1) 被害状況
別表（省略）
- (2) 市道被害状況
別表（省略）

3 渡利地区内での対応

(1) 避難所開設（6箇所）

別表1のとおり

なお、浜通り（南相馬市）の避難者を受け入れていた福島南高校の避難所は、4月10日に閉鎖される。

・避難所での人的協力者

炊き出し 渡利字岩根町 大河内瞳様ほか
南向台自治会

・物資提供者

するがや、あさひや、サトー商会、カレーハウス coco 壱番南福島店、
シャトレーゼ、半澤様

(2) 水道の断水

3月11日の大震災後、送水管にひびが入り漏水が発生、大小160ヶ所。
市内全域で断水が発生した。

12日午前8時より昼夜を問わず復旧作業を開始。

併せて12日から給水車による給水を開始。

3月18日渡利地区の一部で復旧。3月21日に渡利地区全域で全面復旧。

渡利地区では、3月12日から21日まで給水車による給水を実施。

- ・渡利支所 給水活動 消防団第7分団渡利
南高校での駐車場整理 ボランティア
南高校合格発表時 交通安全協会渡利支部
- ・南向台小 給水活動 南向台自治会、南向台安全パトロール隊
- ・小倉寺地内 給水活動 小倉寺町会

※ 水道水は現在も渡利支所で給水している。

(3) 環境放射能測定値について

別表（省略）

4 各町会等での対応

(1) 市消防団第7分団渡利の対応

◇3月11日（金）

地震発生後各部で災害状況の見回り後渡利支所に集合

- ・渡利地域包括支援センターと協力して一人暮らし高齢者等の救助
- ・各町会から報告のあった危険箇所へバリケード等の手配
- ・避難場所に指定されている渡利中学校体育館が危険になり、渡利中学校に避難された方々を渡利小学校へ誘導
- ・避難場所へ食事の手配・配送

するがや→渡利支所

あさひや→渡利学習センター、渡利小学校、渡利幼稚園、南向台小学校

◇3月11日（金）～3月16日（水）

余震と避難者への対応のため、渡利支所に夜間各部持ち回りで待機

◇3月12日（土）～19日（土）（延べ100名程度）

水道の給水活動の実施（午前5時30分～午後8時まで）

- ・水道の給水活動
- ・給水者の対応（整列、最後尾確認）
- ・交通整理（駐車場が南高校のため市道での交通整理）

□随時

一人暮らし高齢者等の安否確認を担当民生委員と実施

簡易トイレの水洗の供給

(2) ボランティア等による対応

- ・給水活動中南高校での駐車場整理
- ・交通安全協会渡利支部による県社会福祉協議会等への駐車場整理
- ・市社会福祉協議会ボランティアセンターから派遣されたボランティアによる給水活動

(3) 町会等での対応

別紙資料 (省略)

5 今後に向けて

- ・連絡網の整備と連絡体制の確立 (ネットワークづくり)
- ・連絡網による連絡がなくても災害発生したと思われる時は、各町会で被害状況を確認して、支所へ被害状況を報告していただく。(被害がない場合も)
- ・民生委員・各町会役員と合同で一人暮らし老人等の安否を確認し、渡利支所又は渡利地域包括支援センターへ報告していただく。
- ・渡利地区内井戸水リストの作成

東日本大震災に係る渡利地区の状況報告等会議 会議録

23. 4. 19 (火) 午後1時30分

- ① 渡利中学校、渡利小学校が避難所に指定されているが、渡利中学校は耐震補強がまだなされていない。渡利小学校は阿武隈川が溢れると対応できない。このような状況のもと、地震のときは渡利小学校、洪水のときは渡利中学校と災害の状況を見て対応しなければならない。
- ② 渡利中学校は避難所に指定されており、今後耐震補強工事をしてほしい。
また、あわせて、避難所に井戸や発電機を備え付けてほしい。
- ③ 市に物資が来ているにもかかわらず、避難所にすみやかに届いていない。届ける体制づくりを整備する必要がある。
- ④ 今回の災害で、対応できる役員がいなかった。23年度町会総会で方部別に役員を設けるなど災害に対応できる体制にした。
- ⑤ 近隣町会を含めた町会長連絡網を整備する必要性を感じた。
- ⑥ 町会役員、民生委員、消防団等協力し、一人暮らし高齢者等の安否確認ができた。
- ⑦ 各家庭で余っている物資を避難者へ提供できればと町会へ呼びかけをした。
後で会社からも呼びかけてもらえたら、ダンボール等提供できたと話があった。
- ⑧ 水を給水するに当たり、水を入れる袋を当初は市で配布するとしていたが、そうではなかった。 →うまく情報が伝わらなかった。
- ⑨ 各地区で利用できる井戸水を確認しておくこと。
- ⑩ 渡利には清水があるので、飲料水として利用できるように水質検査をしておきたい。
- ⑪ 給水車による水の供給場所を南高校にしてはどうか。駐車場もあるし敷地面積も広い。

別表 1

渡利地区の経過

	渡利支所	渡利学習センター	南向台小学校	大豆塚団地	渡利小学校	渡利幼稚園	合計	備考
H23.3.12(土)	60	84	24	26	90	39	323	
H23.3.13(日)	120	11	212	0	50	50	443	3/13大豆塚団地閉鎖
H23.3.14(月)	70	11	187	0	81	23	372	
H23.3.15(火)	100	18	316	0	93	20	547	
H23.3.16(水)	80	20	260	0	73	14	447	
H23.3.17(木)	90	19	257	0	64	0	430	3/17渡利幼稚園閉鎖
H23.3.18(金)	70	16	212	0	55	0	353	
H23.3.19(土)	25	10	175	0	0	0	210	3/19渡利小学校閉鎖
H23.3.20(日)	0	5	176	0	0	0	181	3/20渡利支所閉鎖
H23.3.21(月)	0	7	157	0	0	0	164	
H23.3.22(火)	0	3	0	0	0	0	3	3/22南向台小学校閉鎖
H23.3.23(水)	0	7	0	0	0	0	7	
H23.3.24(木)	0	4	0	0	0	0	4	
H23.3.25(金)	0	0	0	0	0	0	0	3/24渡利学習センター閉鎖
合計	615	215	1,976	26	506	146	3,484	

【避難状況の推移】

・3/12(震災翌日)より全体避難者数を集計。当初、8時～22時の2時間おきの定時連絡とするが、停電、電話不通等の障害があり、避難所と対策本部との意思疎通に障害発生。そのため、14日より8時、12時、16時の3回の定時連絡とした。

・今回の集計は、8時の避難者の集計としている。